（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	2024 年 11 月 21 日（木曜日） 11 時 00 分頃							天候	曇り	
災害の程度	死亡　　名		負傷 1 名		職種 基礎工		年令 54 才		経験年数 1年　ヶ月	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況	［件　　名］ 鉄塔基礎工事中，クレーンで吊っていた吊り荷にぶつかり受傷した ［作業内容］ 基礎作業 ［発生状況］ 鉄塔基礎掘削の排土作業中，ジブクレーンで吊っていた土砂を入れた袋（バックナー）が振れ，被災者の上半身に当たり受傷した。 ［被災程度］ 胸部打撲傷 ［服装・装備］ 安全帽，作業服上下，雨具上下，長靴，ゴム手袋
原因及び対策	［発生原因］ ・オペレーターは荷降し位置や被災者が良く見える位置に移動中だった ・オペレーターは目測を誤った ・オペレーターは当日作業の変更(ブームの高さを低くする)を被災者に伝えていなかった ・被災者は吊荷の移動先付近(操作ミスにより予期せず吊荷が振れた場合に接触する可能性のある位置)で待機していた ・元請職員・作業班長は旋回範囲，合図等の確認をオペレーターと被災者(合図者兼玉掛者)任せにしていた ［再発防止対策］ 「元請会社」 ・玉掛者に対して吊荷が静止してから吊荷に近づくように TBM KY で指導する。 「協力会社」 ・オペレーターに対し，移動しながら重機の操作をしないように指導する。 ・吊荷が振れても接触しない位置を所定の退避場所として定め，作業者に対し吊荷が静止するまで退避場所で待機させる。 ・オペレーターと合図者・玉掛者に対し，当日の作業内容，合図方法（電子ホイッスルの使用と動作・タイミング）および，互いの意思疎通を明確にして作業することをＴＢＭ－ＫＹで指導する。 ・玉掛者に対して吊荷が静止してから吊荷に近づくようにＴＢＭ－ＫＹで指導する。

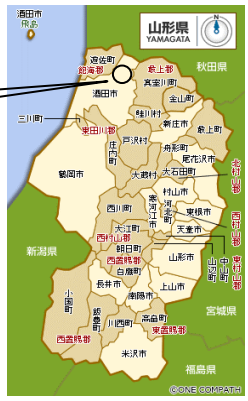
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

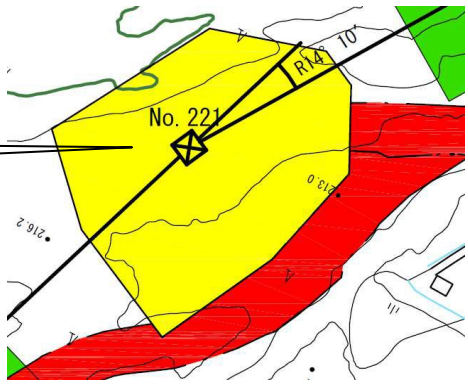
（様式－2）

災　害　概　要　図

発生状況

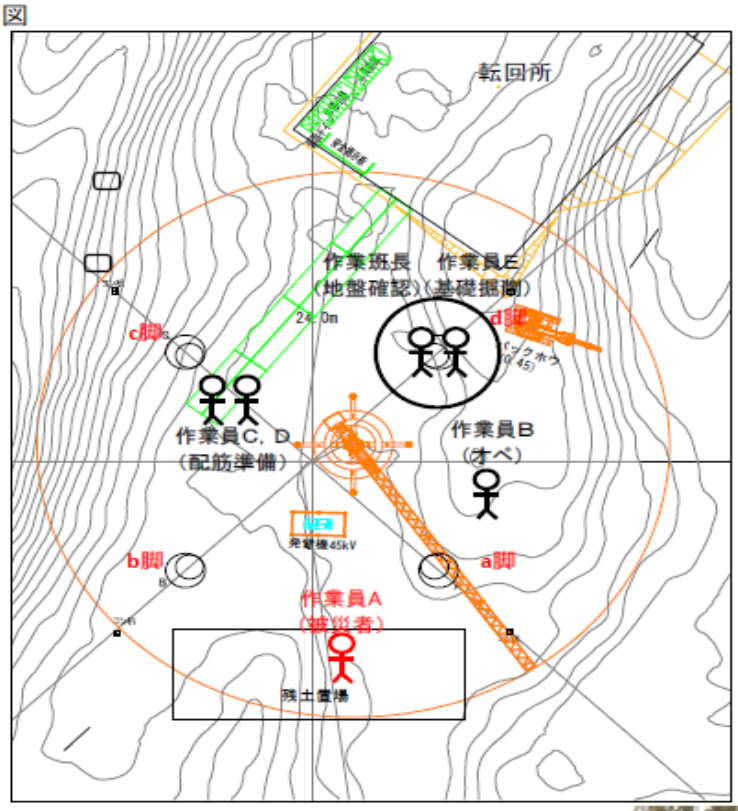
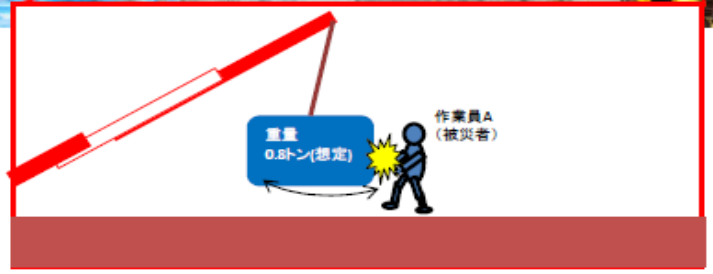


発生場所



災害発生場所

被災状況図



バックナー（土砂袋）